



園だより（年長つき組）

今月は、緊急事態宣言中で、午前保育となり、例年とは異なる第2学期の始まりとなりました。子どもたちは久しぶりの友達との再会を楽しむように、室内、戸外で興味のある遊びを見つけ、友達との関わりを楽しみながら遊んでいました。

小さな命との出会い



「あっ、バッタだ！」
「待って待って、私も捕まえない。」



「あっ、あそこに逃げちゃった…。」「捕まえたよ！だれかかごに入れて。」「いいよー。」



「見て見て！食べてるよ。」「ねえ、このバッタ、3匹おんぶしてる。」

みんなで畑のカボチャを見に行くと、「あっ、バッタだ。」と一人の子から声があがりました。「どこどこ？」「捕まえない。」と興味津々の子どもたち。触れてみたい気持ちはあるものの、少し怖い気持ちもあり、おそろおそろ近づくと、動きの速いバッタを捕まえることができませんでした。その後、別の日に棚田方面に散歩に行くと、道の端で何かピョンピョン。よく見るとバッタやイナゴでした。園に持ち帰り、みんなで相談してクラスで飼育することになりました。「住みやすいおうちを作ってあげようよ。」と図鑑に載っていたイラストを参考に、土を入れたり、エサとなる草を水の入れた容器に入れたりしました。すると、エサを食べている様子をみんなで見る事ができ、夢中になって観察していました。エサを入れる容器の水は毎日交換しないと臭くなってしまふこと、新鮮な草の方が良く食べるなど飼育してみて気付くことがたくさんありました。



「みんなが近くに来るとひかげになっちゃうよ。」「大丈夫かな…。」



「ここに逃がして大丈夫かな。」「近くにエサがあるところがいいんじゃない？」



「全部で11匹いる。」「こっちに5匹お引越ししようよ。」

ある日、エサの交換をしていると、エサの水の中に落ちてしまっているバッタを見つけました。「かわいそう…。」「体が濡れちゃったから乾かさないと…。」「もう逃がしてあげようよ。」と子どもたちは弱ってしまったバッタを逃がしてあげることにしました。いざ園庭に放すと、「遊んでいるお友達に踏まれてしまわないかな。」「エサをちゃんと見つけれられるかな。」と心配でたまりません。みんなで相談して、エサが豊富にある畑に逃がしてあげることにしました。逃がしてあげた後どうして弱ってしまったのか、みんなで相談しました。「11匹入っているから、おうちが狭かったのかな。」「たくさんいてケンカしちゃったのかも。」といろいろな予測を立て、「おうちが狭いなら、2つに分けてあげようよ。」と、2つに分けて飼育することになりました。

その後数日、子どもたちは、頑張って世話をしていましたが、弱ってしまったので、全部逃がしてあげてバッタとはお別れしました。畑で見つけたときには、バッタに触れるのを怖がっていた子も、繰り返し出会う中で触れてみたいという気持ちが出てきたり、毎日、エサとなる草を用意したりできるようになりました。世話する中で小さな生き物への愛情も深まり、時には、半日かけてクラス全員でバッタについて考えることもありました。身近な自然の中での小さな生き物との出会いが子どもたちの心を豊かにしてくれることを改めて実感した出来事でした。

友達と一緒に…



大きな家を作ろうよ。」と遊戯室にあるブロックやゲームボックスを使い、家づくりが始まりました。ブロックの向きを揃えたり、「ここを玄関にしようよ。」と友達と声を掛け合いながら進め、遊戯室半分ほどの大きさの家を完成させ、家族ごっこが始まりました。



「また遊びたいね。」とつき組の部屋に家を引越し、クラスでもおうちごっこが始まりました。「ここはお風呂ね。」と入浴する真似をしていると、「シャワーがあるといいね。」と遊びを進める中でイメージした物や使いたい物を作り足しながら遊んでいます。



「ペットを飼いたい。」と動物を作って世話をしている友達に気付くと、「楽しそう。」「私も作る!」とそれぞれ飼いたい動物を作りました。動物が完成すると「動物と一緒に出かけよう。」と動物を乗せる車も作りました。友達がしていることに興味をもち、それが「やってみたい。」という意欲につながっていて、進んで作っています。また、遊びに使う道具が増えたことで、イメージが広がり、「お出かけする。」「家でごはんを食べる。」など遊びも広がっています。

力を合わせることの楽しさや面白さを感じたり、友達と相談する中で、気持ちを伝え合ったり、受け入れ合ったりする体験をたくさんしてほしいと思います。

演奏会ごっこ



ハンドベルの演奏会ごっこ。繰り返し取り組む中でレパートリーが2曲になりました。演奏するたびにベルを交換していろいろな音を試しながら、友達と息を合わせて演奏しています。

冬芝の種まきをしました



冬芝の種まきをしました。種が風で飛ばされないように、砂と種を混ぜたものを園庭に蒔きました。種まきの準備から率先して取り組んでいました。

消防自動車お絵描き会



消防士さんから、消防車について教えてもらったり、いろいろなところを見せてもらったりして、消防車への関心が高まる中のお絵描き会。細かい部分もよく観察し、じっくりと取り組んでいました。

